

# 2024年度 情報社会学部カリキュラムマップ

大学の定める全学的な学位授与の方針に基づき、情報社会学部が示す以下の知識や能力、姿勢を備えた者に学士(情報社会学)を授与します。

(情報社会学部CP)		情報社会学部DP1	情報社会学部DP2	情報社会学部DP3				
情報社会学部の学位授与の方針に掲げた知識や能力、姿勢を身に付けるため、全学の教育課程編成・実施の方針に基づき学位プログラムを以下の通り編成します。		新しい時代を生きる職業人として必要な思考力と課題解決能力	情報社会学の諸領域における実学的な専門知識と技能	社会とつながり、多様な人々と協働できる人間力				
(情報社会学部CP2)		・情報社会学の諸領域を横断的に学んで実践的な思考法を身に付け、現代社会の諸問題を発見し、課題解決の道筋を立てることができる。	・幅広い教養と情報社会学の諸領域における専門的な知識・技能を身に付けて、社会生活に役立てることができる。	・多様性を尊重して主体的に他者と関わり、現代社会の諸課題に関心を持って、その解決に意欲的に取り組む姿勢を備えている。				
4つの専門領域のうち社会学／現代ビジネスの2領域を「社会学・現代ビジネスコース」として、データサイエンス／情報デザインの2領域を「総合情報コース」として、基幹科目、コース導入科目、発展科目、演習科目等を置き体系的に教育課程を編成す								
ID	区分/CP	科目名	思考力	課題解決力	知識	技能	主体性	つながる力
A-1	A-1合計	基礎社会学	◎		○			○
		企業分析の基礎	◎	○	○			
A-2 社会学	A-2 社会学合計	現代社会とコンピュータ	○		◎	○		
		情報リテラシー		◎	○	○		
A-2 社会学	A-2 社会学合計	社会調査の読み方 I		○	◎	○		
		社会調査論 I		◎	◎	○		○
A-2 現代ビジネス	A-2 現代ビジネス合計	メディア論	◎		○			
		国際社会学論	○		○		○	
A-2 データサイエンス	A-2 データサイエンス合計	基礎経済学	◎	○	○			
		経営学基礎	○		◎		○	
A-2 情報デザイン	A-2 情報デザイン合計	企業経営論			○			
		簿記論(初級) I	○		○	○		
A-2 データサイエンス	A-2 データサイエンス合計	データサイエンス基礎	○	○	◎			
		プログラミング思考入門	◎	○	○			
A-2 情報デザイン	A-2 情報デザイン合計	現代社会と人工知能	○		◎			
		基本情報システム論	○	○	◎			
A-2 全体合計	A-2 全体合計	メディア・コミュニケーション論	◎	1	0	3	0	0
		デザイン思考入門	○	3	3	0	0	2
A-2 全体合計	A-2 全体合計	プレゼンテーション技法	○		○		○	○
			◎	0	1	1	0	0
A-2 全体合計	A-2 全体合計		○	3	2	1	2	1
			◎	5	2	8	0	0
A-2 全体合計	A-2 全体合計		○	10	8	9	7	5
			○					
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	社会調査の読み方 II	○		◎	○		
		社会調査論 II	○		◎	◎		
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	アンケート分析法		○	○	◎		
		インタビュー分析法	◎				○	○
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	社会的ネットワーク論	○	○				◎
		家族社会学	○		◎		○	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	教育社会学	◎		○			○
		地域社会学	◎	○	○			
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	都市社会学	◎	○	○			
		消費者行動論		○	◎		○	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	消費社会学	◎					○
		若者論	○	○	◎			
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	ポピュラーカルチャー	○		◎	○		
		コミュニケーション論	○		◎		○	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	メディア社会学	○	○	◎			
		マスコミュニケーション論	◎	○	○			
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	ソーシャルメディアの社会学	○	○	○			
		メディア制度論	◎	○	○			
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	メディアリテラシー論	○	○	◎			
		グローバルスタディーズ	○		○			○
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	国際文化論	○		○		○	
		ヨーロッパ研究	○		○		○	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	アンケート調査の企画と実践	○	◎		○		
		社会調査演習(アンケート) I	○	◎			○	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	社会調査演習(アンケート) II	○	◎			○	
		社会調査演習(インタビュー) I	○	○			◎	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	社会調査演習(インタビュー) II	○	○			◎	
		英文会計	○		○	○		
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	簿記論(初級) II	○		○	◎		
		原価計算論入門			○	◎		
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	原価計算論			○	◎		
		財務会計論	○		◎	○		○
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	簿記論(中級)	○		○	◎		
		金融機関論	◎	○				
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	金融リテラシー	◎				○	
		経営戦略演習		○	○			
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	経営戦略論			○			
		マーケティング論	○		◎		○	
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	国際マーケティング論	○		◎		○	
		コーポレートガバナンス	○		◎			
B 社会学・現代ビジネス	B 社会学・現代ビジネス	人的資源管理論	○		◎			
		現代社会と労働	○		◎			○

	組織論				○				
	中小企業論	○			○			○	
	経済情報分析	○			○	◎		○	
	ミクロ経済学Ⅰ	◎	○						
	ミクロ経済学Ⅱ	◎	○						
	国際経済論	○	○		◎				
	労働経済学	◎	○						
	ゲーミング基礎	◎	○		○				
	社会学・現代ビジネスコース特殊講義								
B_社会学・現代ビジネス合計		◎	13	3	13	7	2	1	
		○	30	21	24	5	12	6	
B_総合情報	人工知能技術基礎		○		◎	○			
	身体情報処理基礎		○		◎		○		
	プログラミング基礎		○	○	◎	◎			
	プログラミング応用		○	○	◎	◎			
	経済シミュレーション		○		◎	◎			
	スマートフォンアプリ開発基礎		○		◎	◎			
	スマートフォンアプリ開発応用		○		◎	◎			
	データサイエンス統計学基礎		○		◎	◎			
	Pythonプログラミング		○		◎	◎			
	Pythonとデータベース			○	◎	◎			
	企業情報システム論		○		◎	◎			
	インターネット論		○		◎	◎			
	データセキュリティ基礎			○	◎			○	
	データセキュリティ応用			○	◎			◎	
	人工知能技術応用		○		◎				
	身体情報処理応用			○	◎			○	
	データサイエンス応用			◎	○				
	データベース論		○		◎	◎			
	サイバー犯罪とセキュリティ		○	○	◎				
	コンピュータ統計学			○	◎				
	情報ネットワーク論		○		◎	◎			
	情報システム設計		○		◎	◎			
	スポーツ情報論		○		◎				
	情報システムの法的保護		○		◎				
	インターネットと著作権		○	○	◎				
	空間情報処理基礎			○	◎		◎		
	画像処理とAI			○	◎		◎		
	データ処理とAI			○	◎		◎		
	総合デザイン論		○	◎	○				○
	メディア産業論			○	◎				○
	情報と職業		○					◎	○
	情報社会と倫理		○						
	認知とデザイン		○	○					○
	広告デザイン基礎		○	○			◎		
	広告デザイン応用		○	○			◎		
	映像デザイン基礎				○		○		○
	映像デザイン応用				○		○		○
	グラフィックデザイン基礎				○		○		○
	グラフィックデザイン応用				○		○		○
	Webデザイン基礎			○	◎				
	サウンドデザイン基礎		○		◎		◎		
ゲームデザイン基礎		○		◎		◎			
ゲームデザイン応用		◎				○		○	
エスノグラフィー基礎			◎	○				○	
広告戦略論		◎	○	○					
広告クリエイティブ論		◎	○			○			
色彩論			○	○				○	
映像メディア論		○		◎				○	
メディアアート論		○		◎				○	
インタラクティブデザイン論		○	○	◎					
総合情報コース特殊講義									
B_総合情報合計		◎	3	3	18	11	2	0	
		○	29	21	24	21	9	7	
C-1	社会調査ケーススタディ		◎	○					○
	文化人類学		○		◎				○
	ジェンダー論		○	◎	◎			○	○
	ボランティア論			○				◎	
	観光サービス論			○					◎
	社会福祉論		○		○				○
	社会保障論			○	○				○
	地域文化論		○		○				◎
	高齢者福祉論			○	◎				
	農村政策		○	○	◎				
	地域政策		◎	○	◎				
	社会政策		○	○	◎				
	時事国際関係論		○	○	◎				
	地域コミュニティ論		○	○	◎		○		
	社会起業論			◎				○	○
	ファンディング・ビジネス論			◎				○	○
	財務諸表分析Ⅰ		◎	○	○				
	財務諸表分析Ⅱ		◎	○	○				
	会計と歴史		○		◎		○		○
	時事金融論		◎	○					
	Accounting History				○		○		○
	Comparative Civilizations		○		○			○	
	Financial Accounting				○		○		○
	Global History		○		○				○
	データサイエンス統計学応用			◎	○		○		
	実践データサイエンス		◎	○	○		○		
	戦略的意思決定論		◎		○		○		
ゲーミング応用		○	◎				○		
情報行動論		○	○	○					
情報科教育法Ⅰ		○		◎					
情報科教育法Ⅱ			◎	○				○	
Webデザイン応用			○	◎			○		
サウンドデザイン応用		○		○		◎			

	エスノグラフィー応用		◎	○	◎	○	
	空間情報処理応用		○	○	◎	○	
	デジタルマーケティング論	○		○		○	
	Pythonによるファイナンス	◎	○		○		
	情報社会特殊講義						
C-1合計		◎	8	7	8	2	1
		○	16	20	20	8	8
D	情報社会学部基礎演習		○	○			◎
	演習Ⅰ		○	○	○	○	○
	演習Ⅱ		○	○	○	○	○
	演習Ⅲ		○	○	○	○	○
	卒業研究		○	○	○	○	○
D合計		◎	0	0	0	0	0
		○	5	5	4	4	5
全体合計		◎	31	16	48	20	5
		○	91	76	84	47	39

これらの教育課程について、「大阪経済大学アセスメント・プラン」に基づき、様々な角度からの評価（試験・レポート、小テスト、外部アセスメントテスト等）をすることにより学修成果を把握します。  
また、教育課程における各授業科目については、シラバスに到達目標を定めどのように評価するかを記載することで質を保証するとともに、教育課程全体の評価・検証の状況を把握します。

